



三重陸協たより

三重陸協広報部発行

第3号

平成18年7月23日

小林・藪根選手 国際大会で大活躍!

☆☆ 小林史和 (NTN) 選手 2000mで日本記録樹立 ☆☆ ～アジア大会第1次日本代表選手に選出される～

7月14日(金)日本実業団連合欧州遠征の第1戦 ゴールデンズホレン ミーティング Goldensporen meeting (ベルギー) の2000mに出場した小林史和選手 (NTN) が、5分07秒24の日本新をマークしました。この記録は1977年に重成敏史選手 (順天堂大) が樹立した5分08秒2を29年ぶりに0.96秒更新するもので、これで小林選手は、1000m、1500mに続いて3種目目の日本記録保持者となりました。

また、小林選手は日本選手権の男子1500mでも優勝し、12月にカタールのドーハで行われる、第15回アジア競技大会の第1次日本代表選手にも選出されました。今後の活躍にも期待したいと思います。

☆☆ 藪根ゆい (近大高専) 選手 アジアジュニア5位 ☆☆ ～日本ジュニアでは三重県高校新1m79～

7月16日(日)、中国マカオで行われた、第12回アジアジュニア選手権の女子走高跳で藪根ゆい選手 (近大高専) が1m75の記録で5位に入賞しました。藪根選手は、7月9日(日)に行われた第22回日本ジュニア選手権では1m79の三重県高校新記録を樹立しています。初めての海外遠征でも、自分の力を発揮して素晴らしい成績をおさめたことは大変素晴らしいことで、8月のインターハイをはじめ、これからの活躍がさらに楽しみになってきました。

第90回 日本陸上競技選手権大会 入賞者

6月30日(金)～7月2日(日)

神戸市：ユニバー記念競技場

優勝	男子1500m	小林 史和 (NTN)	3分41秒37
4位	男子円盤投	藤原 潤 (八千代工業)	51m24
6位	女子走高跳	藪根 ゆい (近大高専)	1m70
7位	男子1500m	坂 直哉 (名城大)	3分45秒96
8位	男子3000mSC	梅枝 裕吉 (NTN)	8分51秒31
8位	男子ハンマー投	久保 幸弘 (三重教員クラブ)	60m20

第22回日本ジュニア陸上競技選手権大会 入賞者

7月8日(土)～9日(日)

島根県出雲市：浜山公園

優勝	男子10種競技	6579点	前田 剛 (国際武道大) 一名張桔梗丘高出身一
優勝	女子 走高跳	1m79	藪根 ゆい (近大高専) ☆県高校新
7位	男子 砲丸投	15m12	南 幸裕 (国士舘大)
7位	男子 円盤投	45m19	大山 祐史 (伊勢工業高)
7位	女子 走幅跳	5m74 (-0.2)	遠藤 桃子 (桑名高)
8位	男子 400mH	54秒22	山本 健太 (宇治山田商高)

はばたけアスリート

42年ぶりの三重県新記録 7m75

遅咲きのアスリート 出口 義人(IseTC)選手

7月15日(土)に行われた第69回三重県陸上競技選手権大会の男子走幅跳で、出口義人(IseTC)選手が、7m75(+1.6)の三重県新記録を樹立しました。この記録は、東京オリンピックの開かれた1964年に小田海平(四日市高)選手が樹立した7m73を、42年ぶりに更新する価値ある記録となりました。



出口選手はその感想を、「とにかく嬉しい限りです。長い間自己ベスト更新の喜びから離れていたもので、今回のジャンプは最高にすっきりしました。ゲーム中もたくさんの観客の方たちに手拍子してもらい、声援をもらって出た最高の結果なので本当に気分のいい記録でした。」と語ってくれました。

今回の記録更新につながった要因としては、社会人になって IseTC の仲間とスピード強化に取り組み、ここ2~3年は7m40前後で記録に安定感が出てきたことをあげてくれました。また、ここ数ヶ月は練習で7m後半のいいジャンプが何本もあり、コンディション次第では記録更新の予感を強く感じていたそうです。

出口選手は、中学時代はバレー部で上野工業高校進学後陸上競技を始めました。高校時代のベスト記録は2年生の時の6m37。日本体育大学進学後、3年生では7m59まで一気に記録を伸ばし、その年には全日本種目別選手権で6位に入賞しています。その後社会人3年目の今年まで、毎年安定して7m40~50前後を記録していました。

これからの目標としては8m台の跳躍。いつも頭の中で意識しているそうです。その為には自分の能力を向上させ、レベルの高い試合で勝負して勉強したいと考えています。9月には、初の海外遠征になるシンガポールオープンに出場する予定です。

今の自分に一番あてはまる言葉は「継続は力なり」、後輩たちには「不安や苛立ちなどは誰にでもあること、くじけず練習に取り組みましょう」というメッセージをいただきました。最後に、応援していただいた方々に「ありがとうございました」という感謝の気持ちを贈って下さいということでした。

三重県初の8mジャンパー目指して、遅咲きのアスリートのこれからの活躍に期待したいと思います。

第22回全国小学生陸上競技交流大会県代表選手 決定

8月26日(土) 東京：国立競技場

【男子】

5年100m 田中 翔真(美杉陸上ク：津市)
6年100m 池村 優介(みどり町スポ少：亀山市)
80mH 岩田 大輝(一志 Beast：津市)
4×100mR 内城田 SC：度会郡
 山川 竜樹・清水 敬太
 岡田 嵩也・加藤 純也
 野村 悠斗
走高跳 衛藤 将(鈴鹿 AC：鈴鹿市)
走幅跳 中村 駿也(北勢 RC：いなべ市)
ボール投

【女子】

小山 実穂(多気 RC：多気郡)
田矢 愛美(JAC 亀山：亀山市)
世古 春香(国府スポ少：志摩市)
内城田 SC：度会郡
山本 綺美・矢野 ころ
井戸本 莉奈・森本 真由
中村 亜矢
東海 里香(南勢 AC：度会郡)
中村 理紗(安楽島：鳥羽市)
浜口 麗圭(片田：志摩市)

7月16日(日) 三重県選手権で、壮行会が行われました。

小学生アスリートの健闘を期待します！